

終業式の挨拶

いよいよ今日で2学期も終わり、今年も残りわずかとなりました。ここまでの高校生活は皆さんが思い描いた充実したものでしたか？

まずは修学旅行、このコロナ渦で大変厳しい状況でしたが、2年生・3年生ともに天候にも恵まれ、無事全日程をこなすことができました。皆さんのたくさんの笑顔に触れることができたとともに、特に3年生の皆さんが終了後に受験勉強に集中し始めたことをみて、本当に実施できてよかったと思いました。次に体育祭、全学年が一同にグラウンドに集合することができたことにまず感激したとともに、グラウンドが不良であったにも関わらず、係りの皆さんの協力で全種目を実施できたことにも驚きました。文化祭も執行部の活躍で全学年がほぼ通常に近い形で実施でき、さらに保護者の方々や中学生も入場していただくことができました。やはり学校行事は、皆さんの協力があって初めて充実したものとなるし、それによって皆さん自身も成長していく大切なものであると再認識しました

ところで、先週閉幕したサッカーのワールドカップにおける日本の活躍には皆さんも心を熱くされたと思います。私もその一人でした。最後惜しくもPKで敗退したのですが、その時の選手の皆さんの涙を見てみると、ここに至るまで想像ができないくらいのような様々な努力や苦労、思いがあったのだろうと推察しました。地区予選の時から何だか勝って当たり前の風潮の中で、試合に負けると一斉にバッシングを受ける、選手としても結果を残さないとチームの一員となれない厳しい生存競争、それでも最後まで自分を信じて、仲間を信じてより高い目標に向かって妥協をせずチーム一丸となって戦ってきたから、このような景色を見ることができたのではないのでしょうか。

皆さんは、どうですか。ちょっと辛いことがあったり、嫌なことがあったりすると、適当な理由を見つけて安易な道を選んでいませんか。高校時代だけです。仲間とともに共通の目標を目指して、ひたすら努力し続けることができるのは。そしてその苦労が大きければ大きいほど、後から得られる喜びは計り知れないほど大きい。

ですから、失敗や自分が傷つくことを恐れず、挑戦してほしい。

それが、その仲間が自分にとって大切なものならば、途中であきら

めないで最後まで続けてほしいと思います。自分を信じて、仲間を信じて、最後の一ミリまで努力をすることを心がけてほしいと思います。

さて、3年生の皆さんにこうやってお話しできるのもあと2回ですね。一般受験を目指して頑張っている生徒諸君、自分の進路実現のため、よく頑張っています。担任の先生方からも、前回の模試の結果が大変よく、過去5年間でこの学年が一番良いと嬉しそうに報告を受けました。素晴らしい。中には、思うように成績が伸びず、不安を感じている人もいるかもしれませんが、もう模試の判定結果が出ないこの1・2か月が、現役生にとって一番成績が伸びる時期です。成績は試験当日まで伸びます。今まで頑張ってきた自分を信じて、焦ることなく、最後までやり通してください。こういう大きなプレッシャーがかかる時ほど「雪高生」は力を発揮できると私は信じています。皆さんを心から応援しています。進路が決まった皆さんも、次のステージへの準備として有意義に過ごして、晴れの卒業式を迎えてください。

2年生の皆さんは、自分の自己実現のためにしっかりとスタートが切れていますか。見たところ、しっかりと目標を持って行動できている人と、未だに自分のすべきことができなかったり、無気力で何もしななかったりする人との二極化が目立つようになってきました。集団としての力も、お互い高め合おうとする雰囲気弱いことも残念に思います。今が将来を左右する大切な時期です。この今をどれだけ全力で取り組んだかが、後々の皆さんの人生において大きな糧となります。高校生活の様々な場面で中心となる君たち2年生の今後の活躍に大いに期待しています。

1年生の皆さんは、もう高校生活にもずいぶんと慣れてリズムが出てきたと思われれます。通常だと今頃から気の緩みが見られるところですが、今年は目標を持って行動している生徒が多く、勉強にも部活にも意欲的に取り組んでいるように感じます。ただ、誰もが順調に高校生活が送れているわけではないですよ。時間の使い方がうまくいかなかったり、成果が思うように出なかったりしていることも多いと思います。その時は一人で決断するのではなく、仲間を頼ってください。仲間とともに乗り越えるよう努力してください。

愚直で、決してスマートではないけど最後までやり通すことができるのが雪校生だと私は思っています。

それでは皆さん、健康には十分留意して、3学期始業式には元気な顔を拝見できることを楽しみにして挨拶を終了します。